

7月は同和問題啓発強調月間です

あなたの周りにいる人たちの人権は守られていますか
 あなたの大切な人の人権は守られていますか
 あなたの人権は守られていますか
 いま、社会が大きな不安に包まれている中、
 「人権」について改めて考えてみませんか



同和問題啓発強調月間とは

福岡県と市町村は、同和問題の早期解決をめざして、毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、差別を無くす取組を行っています。

同和問題・部落差別とは、「そこに生まれた」「そこに住んでいる」というだけで、社会から心理的にも実態的にも不当な扱いを受けてきたもので、基本的人権が完全に保障されていないという最も深刻にして重大な社会問題です。これまで、生活環境を改善する取組や同和問題解決に向けた教育・啓発を行ってきましたが、現在も部落差別は解消されていません。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年7月に開催している「同和問題市民講演会」は、今年は開催しません。

部落差別をはじめとするさまざまな差別を解消するために

「同和問題(部落差別)はそっとしておけば、自然になくなる」と言う人もいます。しかし、インターネット上では、部落差別に関する悪質な書込みなどが氾濫しています。同和問題を正しく知らないと誤った情報などに対して正しい判断ができず、新たな差別を生むことにつながりかねません。

また現在では、新型コロナウイルスに感染した人や家族、医療従事者、在留外国人などに対する誹謗中傷やいじめ、差別的な対応といった人権侵害が起きています。

インターネット上にあふれるデマや不確かな情報を拡散したり、うのみにしたりすると、人権を侵害し、差別を助長する側に立ってしまうことがあります。

同和問題やさまざまな人権問題について正しい認識を持ちましょう。そして偏見や差別的な言動、インターネットやうわさ話に含まれる誤った情報などに同調することなく、差別をなくすために行動するひとりになりましょう。



子どもの育ちと学びを支援する教育条件整備署名のお礼



市は、児童・生徒一人ひとりを大切にす人権・同和教育を基盤とした学校づくりや、誰もが安心して暮らせる「人権のまちづくり」を進めるため、教職員の加配(学級数に応じた数以上に教職員を配置すること)、高校奨学金制度の改善、BBクラブなどの学び場支援事業の充実など、子どもたちの育ちと学びへの支援・充実を求める署名活動を行っています。

昨年も市内で多くの署名をいただき、県教育委員会などへの要請を行った結果、今年度も市内すべての小・中学校に人権・同和教育推進のための教職員が加配されました。今後とも教育条件整備に関する取組にご理解とご協力をお願いします。

各校区人権のまちづくり推進連絡会

● 問合せ先 人権・同和教育課 ☎72-2111